

2020年度 養成教育セミナー 「オンライン教職実践演習の展開」

日本養護教諭養成大学協議会
FD 検討委員会

<目 次>

(1) 活動について	1
(2) 会員校調査結果(2018年度活動)	1
(3) 「教職実践演習」演習内容検討(2019年度活動)	6
(4) 「教職実践演習」オンライン演習の提案(2020年度活動)	6
(5) 演習のパッケージ資料一覧	6
① 図上演習	7
② 事例検討演習	8
③ 演習の目標	8
④ 演習の評価	8
⑤ 学生への説明資料	9
(6) 資料等の形式について	9
(7) オンライン用ワークシート使用方法例について	9
(8) オンライン演習で使用できるクラウド学習ツール	10
(9) アンケートへの協力依頼と本件に関する連絡先アドレス	11

テーマ「実践力を高める演習の進め方ー教職実践演習で展開するー」

日本養護教諭養成大学協議会
FD 検討委員会

(1) 活動について

Faculty Development (以下、FD とする。) 検討委員会では、「実践力を高める演習の進め方ー教職実践演習で展開するー」をテーマに、教員として求められる4つの事項を授業内容で統合・形成する一方法として、養護教諭養成における教職実践演習の具体的な内容を必要に応じて取捨選択して取り組めるよう、演習計画と評価方法提案したいと考え活動を展開しています。

2018年度は、会員校の皆さまにご協力いただき「教職実践演習」の実施の現状と取り組みたい方法・内容に関するアンケート調査を実施いたしました。その結果をもとに、委員会メンバーで演習の計画をすすめてきました。しかし、2020年度の養成教育セミナーは、対面での実施は叶いませんでしたので、今回、オンラインで実施できる演習としてHPに掲載させていただきましたので、ご報告いたします。

(2) 会員校調査結果 (2018年度活動)

1) 調査概要

- ①実施方法：サーベイモンキーによる Web 調査
- ②目的：「教職実践演習」の実施の現状と取り組みたい方法・内容について集約する
- ③調査期間：2019年2月8日～3月6日 ④回答数：50校 (回答率38.1%)
- ⑤結果概要

「身につけた養護教諭として必要な実践的指導力の確認のための取り組み」では、取り組む演習により学生の自己評価にあわせて相互評価、他者評価を実施している会員校もあった。現在実施している「実践的指導力を身につけさせるための方法と内容」の回答数は230項目であった(複数回答)。主たる展開方法として、グループワーク、PBL、ケースメソッド、シミュレーション、ロールプレイ、模擬授業、計画立案および発表などであり、内容は「保健室経営」、「健康課題への支援」、「特別な支援が必要な子供への対応」、「健康教育・保健指導」、「救急処置活動」、「危機管理」であった。「今後取り組みたい展開方法と内容」の回答数は35項目であった(複数回答)。取り組みたい展開方法は、シミュレーション、卓上訓練、ケースメソッド、ロールプレイ、ワークショップなどであり、内容は「危機管理体制」、「災害時の連携」、「個別支援の連携」、「医療機関・地域連携」等であった。「効果的にすすめていくために創りたいこと」の内容は、実践するためのシナリオ、マニュアル、授業計画や評価基準様式などの演習を円滑に進め内容を充実させるための教材であったが、テキストとして欲しいという意見や、現職養護教諭と協働して行う演習や国際的視点をもたせる内容を創りたいという意見もあった。「困っていることや課題」は27校から回答があり、担当教員数・演習時間、開講時期に関するものや、担当教員間の意見の相違に関する内容等であった。

本調査結果より、今後の活動計画として、それぞれの養成大学における到達目標等に活用可能な「学生が身に付けた資質能力の最終確認」のための評価方法の検討と、今後と取り組みたい展開方法と内容としてニーズの高かった、連携に関する内容を取り入れたシミュレーションと事例展開の演習を立案し、養成教育セミナーの実施計画としてすすめることとした。

2) 結果報告

①属性

50校（看護系26校、教育系10校、学際系10校、短期大学4校）

②質問1. 教職実践演習（養護教諭）の総コマ数、1コマあたりの授業時間（分単位）

③質問2-1 担当する教員数（非常勤講師含む）

④質問3. 平成30年度の教職実践演習（養護教諭）1クラスの対象学生数

（平均）

	②総コマ数	②1コマ当たりの授業時間（分）	③担当教員数	④1クラスの対象学生数
全体（50）	16	88	4	17
看護系（26）	16	85	4	10
教育系（10）	17	92	5	23
学際系（10）	15	90	4	22
短期大学（4）	15	90	2	24

担当教員が1名で担当：全体8校（看護系3校、教育系2校、学際系1校、短期大学2校）

⑤質問2-2. 複数教員による授業形態の現状

	オムニバス形態	複数人で1つのコマを担当	内容により両方の形態
全体（42）	10	6	24
看護系（23）	6	1	16
教育系（8）	1	2	5
学際系（9）	2	1	6
短期大学（2）	0	2	0

⑥質問4. 身につけた養護教諭として必要な実践的指導力を確認するための取り組みの現状

（回答校40校）

学生の自己評価（40校）で確認しており、発表（3校）、レポート等（4校）、面接（3校）により併せて実施している回答もあった。

⑦その実践的指導力を確実に身につけさせるための取り組み（展開方法と、取り組む内容）現状 展開方法（複数回答）

展開方法	実施数		
全体	231		
1.グループワーク・討論	56	6.ケースメソッド	2
2.事例展開	16	7.シミュレーション	6
3.PBL	2	8.模擬授業	11
4.プレゼンテーション	15	9.計画立案	11
5.ロールプレイ	33	10.その他	79

展開方法別の取り組み内容の現状

【1.グループワーク・討論】

取組む内容	内容数
全体	56
危機管理体制	2
救急処置活動	3
職の理解	6
子供理解と健康課題への支援	12
支援が必要な子供への対応	2
健康教育・保健指導	1
保健室経営	15
養護診断	1
連携	3
養護実習の経験（課題）	11

【3. PBL】

取組む内容	内容数
全体	2
救急処置活動	1
保健室経営	1

【5.ロールプレイ】

取組む内容	内容数
全体	33
学校安全	1
救急処置活動	7
職の理解	2
子供理解と健康課題への支援	10
支援が必要な子供への対応	2
健康教育・保健指導	2
健康相談	1
保健室経営	7
養護実習の経験（課題）	1

【2.事例展開】

取組む内容	内容数
全体	16
職の理解	1
子供理解と健康課題への支援	5
健康教育・保健指導	3
保健室経営	1
連携	1
養護実習の経験（課題）	5

【4.プレゼンテーション】

取組む内容	内容数
全体	15
子供理解と健康課題への支援	3
健康教育・保健指導	1
健康相談	1
保健室経営	4
養護実習の経験（課題）	6

【6.ケースメソッド】

取組む内容	内容数
全体	2
危機管理体制	1
子供理解と健康課題への支援	1

【7. シミュレーション】

取組む内容	内容数
全体	6
危機管理体制	1
救急処置活動	2
子供理解と健康課題への支援	1
健康教育・保健指導	1
連携	1

【8. 模擬授業】

取組む内容	内容数
全体	11
健康教育・保健指導	11

【9. 計画立案】

取組む内容	内容数
全体	11
子供理解と健康課題への支援	1
健康教育・保健指導	4
保健室経営	4
養護実習の経験（課題）	1
その他	1

【10. その他】

取組む内容	内容数
全体	79
危機管理体制	2
職の理解	20
子供理解と健康課題への支援	2
支援が必要な子供への対応	6
健康教育・保健指導	8
健康相談	1
保健室経営	12
養護診断	1
連携	4
養護実習の経験（課題）	13
その他	10

⑧質問 6. 取り組みたい展開方法と内容について（複数回答）

23 校より回答；34 意見（看護系 14 意見、教育系 12 意見、学術系 7 意見、短期大学 1 意見）

展開方法	意見数	内容	内容数
シミュレーション	18	災害時の連携	14
		救急処置の事例	4
ケースメソッド	2	個別支援の連携	2
ロールプレイ	5	個別支援の連携	3
		養護実習の課題	2
PBL	5	関係諸機関との協働	3
		保健室経営	1
		ヘルスプロモーション	1
模擬授業	2	健康教育	2
ワークショップ	2	関係諸機関と学生	1
		現職養護教諭と学生	1

⑨質問 7. 教職実践演習（養護教諭）を、効果的にすすめていくために創りたいこと

26 意見あり

【演習内容・教材等】

- ・養護教諭の演習に即した事例集などのテキスト
- ・事例検討を、より参加型で行うために活用できるような視聴覚教材
- ・国際的視点に基づく教材
- ・危機管理について効果的に行うための教材

【評価】

- ・授業目標を達成するための事前事後課題の作成
- ・ロールプレイやシミュレーションを実施した際の評価を各々で行うことができる評価
- ・他者・相互評価の指標
- ・客観的臨床能力試験(OSCE)を養護教育に応用し、保健室における基本的な養護実践用の OSCE の考案

【環境整備】

- ・学校現場における救急場面のシミュレーション教育を行うための、環境設定（模擬教室・模擬保健室など）の整備
- ・現職教員とのコラボレーション

⑩質問 8. 教職実践演習（養護教諭）に取り組む上で、困っていることや課題

27 意見あり

【担当教員】

- ・担当教員同士の連携不足
- ・オムニバスのため、他教員の実施内容は任せるしかない

【学生】

- ・開講時期により看護師国家試験の準備に影響する
- ・授業の調整が難しい。

【環境整備】

- ・演習を行う模擬保健室などの設備や備品の充実

<まとめ>

教職実践演習として、養護実習の経験をもとに討論や、模擬授業、ロールプレイによる方法、保健室経営や支援などの内容は取り組みやすいが、学生が実習で経験することが難しい連携の内容を含む展開や、1人の教員で担当する場合が多く、シミュレーションなどの実践や教材開発の困難さが理解できた。また、効果的にすすめていくための評価の方法についても取り組みたいことも意見としてあった。

そこで、連携に関する内容を取り入れたシミュレーションと事例展開の演習、評価の方法を立案することを活動計画としてすすめることとした。

(3) 「教職実践演習」演習内容検討(2019年度活動)

最終学年に位置づけられる「教職実践演習」は養護教諭を目指す学生にとって不得意分野の克服と得意分野の伸長などの自己課題に取り組むことにより、実践力を再構成する機会となります。調査結果より、シミュレーション演習、事例検討演習で計画すること、その内容には「連携」を含むこと、評価方法は、前期FD検討委員会(2015～2017年)が取り組んだルーブリック評価を採用することとしました。さらに、教育課程(カリキュラム)・養成制度(法制度)検討委員会が取り組んでいる「養護教諭養成課程コアカリキュラム(養大協版)2020」との関連を示すことで、会員校への還元と本協議会の活動としての一貫性を意識しました。

(4) 「教職実践演習」オンライン演習の提案(2020年度活動)

6月14日に開催したオンラインミーティングに参加した皆さまからのアンケート結果では、授業のアイデア等の配信についての意見もいただきました。また、2020年度はオンライン総会となり、会場に集まって行わない形式で実施することになりました。FD検討委員会では、本年度養成教育セミナーで実施する予定であった演習を、オンラインで実施できる方法に変更してホームページ上に掲載することにいたしました。

オンライン演習は、配布資料による個人の事前学習、ワークシートの共有、グループワークを基本としました。また、ICT環境の違い、授業担当者数など、会員校の実情に応じて対応可能な方法であること、内容を一部使用することで授業回数に応じて選択できることを考慮しました。

(5) 演習のパッケージ資料一覧

どのパッケージもまず、「1.【説明資料】教員確認用」を読んで頂いてから、ご活用ください。HPから、Zip形式で一斉ダウンロードできます。

演習の説明資料、演習で使用する資料、評価の資料について、内容はファイルごとに独立させて作成しています。各大学の実情に応じて、目標、演習内容、評価は、ご自由に変更、工夫していただけます。

1.【FD検討委員会】図上演習(1回完結用)

- 1.(図上演習1回完結用)【説明資料1】教員確認用；図上演習の目的等説明
- 2.(図上演習1回完結用)【説明資料2】学生へ配布用；図上演習の進行と事前学習の配布資料説明
- 3.(図上演習1回完結用)【配布資料1】学生配布用；令和〇年度校内マラソン大会実施要項
- 4.(図上演習1回完結用)【配布資料2】学生配布用；生徒情報_使用可能物品_教員人数
- 5.(図上演習1回完結用)【配布資料3】学生配布用；図上演習用マラソンコース
- 6.(図上演習1回完結用)【ワークシート1】学生配布用；教員役割表(役割記入済)
- 7.(図上演習1回完結用)【ワークシート2】学生配布用；マラソン大会事例展開(課題)
- 8.(図上演習1回完結用)【評価シート1】学生配布用；自己評価

2. 【FD 検討委員会】 図上演習（2回実施用）

- 1.（図上演習2回実施用）【説明資料1】 教員確認用；図上演習の目的等説明
- 2.（図上演習2回実施用）【説明資料2】 学生へ配布用；図上演習の進行と事前学習の配布資料説明
- 3.（図上演習2回実施用）【配布資料1】 学生配布用；令和〇年度校内マラソン大会実施要項
- 4.（図上演習2回実施用）【配布資料2】 学生配布用；生徒情報_使用可能物品_教員人数
- 5.（図上演習2回実施用）【配布資料3】 学生配布用；図上演習用マラソンコース
- 6.（図上演習2回実施用）【ワークシート1】 学生配布用；教員役割表（役割作成用）
- 7.（図上演習2回実施用）【ワークシート2】 学生配布用；マラソン大会事例展開（課題）
- 8.（図上演習2回実施用）【評価シート1】 学生配布用；自己評価

3. 【FD 検討委員会】 事例検討演習（2型糖尿病事例1）

- 1.（2型糖尿病事例1）【説明資料1】 教員確認用；事例検討演習の目的等説明
- 2.（2型糖尿病事例1）【説明資料2】 学生配布用；演習の進行と事前学習の配布資料説明
- 3.（2型糖尿病事例1）【配布資料1】 学生配布用；事例紹介
- 4.（2型糖尿病事例1）【配布資料2】 学生配布用；事前学習内容
- 5.（2型糖尿病事例1）【ワークシート1】 学生配布用；グループワーク①（問題への対応支援）
- 6.（2型糖尿病事例1）【ワークシート2】 学生配布用；グループワーク②（支援計画立案）
- 7.（2型糖尿病事例1）【評価シート1】 学生配布用；自己評価

4. 3. 【FD 検討委員会】 事例検討演習（倫理事例2）

- 1.（倫理事例2）【説明資料1】 教員確認用；事例検討演習の目的等説明
- 2.（倫理事例2）【説明資料2】 学生配布用；演習の進行と事前学習の配布資料説明
- 3.（倫理事例2）【配布資料1】 学生配布用；事例紹介
- 4.（倫理事例2）【配布資料2】 学生配布用；事前学習内容
- 5.（倫理事例2）【ワークシート1】 学生配布用；グループワーク
- 6.（倫理事例2）【評価シート1】 学生配布用；自己評価

① 図上演習

中学校のマラソン大会（持久走大会）を事例に、校内行事における「危機管理体制」「救急処置活動」「災害時の連携」「特別な支援を必要とする生徒の支援」に取り組むことを目的としました。

その内容は、マラソン大会を開催するにあたり、まず、校内連携として、教員で安全にマラソン大会を実施するための体制をつくることにあります。その役割や配置は、大会が円滑に安全に考慮したものであること、管理職、養護教諭、保健体育教諭、担任や学年団など、それぞれの職の専門性や責務を意識し、支援を必要とする生徒への配慮があることなど、意図をもって作成できること、ならびに保護者へ医療機関への連絡など、その体制で緊急時にどのように役割を担って連携し、対処できるかを考えることを目的としています。

次に、図上演習の特徴をオンライン演習で再現できるように、マラソンコースと校舎を画面で

概観し、人形や物品等のコマを移動させながら取り組むことで、災害発生時の判断と処置、ならびに緊急時体制で教員全員が連携・協働して対応することをグループで経験することを考慮しました。以上から養護教諭が行う連携・協働について行事と災害の全体から考えることができるようにしました。

この演習は2回の授業時間で実施することを想定しており、演習1回目を体制づくりのグループワーク演習、2回目図上演習で取り組むように作成しています。1回で実施する場合も考慮し、体制は準備したものを活用し、図上演習のみ実施する演習1回版も準備しました。

また、【ワークシート1】、【ワークシート2】については、グループワークの進め方として、HP上にそれぞれ10分程度の説明動画を掲載しています。

②事例検討演習

演習事例1は、2型糖尿病の児童の事例で、「子供理解と健康課題への支援」、「連携」、「関係諸機関との協働」に取り組むことを目的としました。

その内容は、健康診断から得られた状態から疾患への理解と必要な治療・指導を理解する知識の再確認を事前準備とし、学校生活を送る上で必要な児童への支援と医療機関との情報共有と連携、さらに、疾患とともに家庭への介入・精神的な支援、経済的支援など学校だけでは対応できない課題に、地域の専門機関を知り、連携・協働することで、継続した長期的な支援のためのチームづくりと養護教諭の役割を考えることを意識しました。

演習事例2は、中学生の指導の状況から「対象理解」、「養護教諭の倫理観」に取り組むことを目的としました。子供の権利を守ることを基盤に、関わる人物の意見について立場や自分の関係性のバイアスを取り払い、多面的に情報から客観的な思考過程ですすめられること、養護教諭として連携・協働するにあたって、職業倫理が基盤にあることを意識し、子供のアドボカシーの役割を担える態度と行動について話し合いができるようにしました。

この演習はそれぞれ1回で想定しています。

以上の事例は、ご自由に変更できるよう Word、PowerPoint の形式で提供しています。

③演習の目標

各演習には「1.【説明資料1】教員確認用」を準備しています。

テーマ、場面設定、キーワード、目標、評価の観点により、作成の意図が分かるようにしていることと、演習の進行例を挙げています。また、本協議会が作成した「養護教諭養成課程コアカリキュラム（養大協版）2020」との関連を示しています。

各大学の実情に応じて、変更して活用いただければと存じます。

④演習の評価

前期（2015年～2017年）のFD検討委員会では、3年間ルーブリック評価について養成教育セミナーで実施してきました。今回、その活動を継続する目的もあり、ルーブリック評価を採用しました。各大学の実情に応じて、活用いただければと存じます。

⑤ 学生への説明資料

各演習には、【説明資料2】として学生への演習の進行がわかるように説明ファイルを準備しました。朱字の箇所は日にちの記入、緑字の箇所は評価についての記載になりますので、活用の有無により変更・修正してください。

以上はFD検討委員会がパッケージとして準備した一例です。演習の【配布資料】【ワークシート】のファイルには、目標、評価に関する内容は明記していません。各大学の実情に応じて使用できるようにしています。各大学のディプロマポリシー、ポートフォリオなどを基本に、その目標にそって、設定いただければと思います。

(6) 資料等の形式について

Word、PowerPoint など、修正や改変が可能な形式で準備していますので、ご自由にお使いください。

演習事例は、FD 検討委員会で作成した架空の事例です。イラストは作成またはフリー素材を使用しています。ただし、日本養護教諭養成大学協議会のFD活動の一環として会員校への還元を目的としていますので、第三者への配布、研修会での使用や方法論として公表する等はお控えいただくことをお願いいたします。

(7) オンライン用ワークシート使用方法例について

オンライン教職実践演習でグループワークに役に立つサイトを紹介しています。

オンライン用ワークシート使用例 参照ください。

意見交換等のグループワークで使用するフリーで使用できる文書やホワイトボードや付箋のソフトの使用方法について図で説明しています。必要に応じて、ご活用ください。

説明しているソフトは、以下です。

- ① Google ドキュメント (スライド 3 ~ 13) ・ ・ Word 版
- ② Google スプレッドシート (スライド 14 ~ 17) ・ ・ Excel 版
- ③ Google スライド (スライド 18 ~ 20) ・ ・ Power point 版
- ④ Google フォーム (スライド 21 ~ 26) ・ ・ 評価用
- ⑤ Google Jamboard (スライド 27 ~ 31) ・ ・ ホワイトボード版

(8) オンライン演習で使用できるクラウド学習ツール

【表A クラウド学習ツールの一例】

	Teams	ZOOM	Google Suite	Google for Education	Google ドライブ (無料) *1
ホスト提示	○	○	○	○	○
ホスト画面共有作業	○	○	○	○	○
参加者画面共有作業 (音声あり)	○	×	○	○	×
参加者画面共有作業 (音声なし)	○	×	○	○	○
チャット	○	○	○	○	×
ソフト付属のホワイトボード共有作業	○	○	○	○	○

*1 Gmail アドレスを保有していること。共有する参加者のアドレスを把握していることが必要

<Teams、Google Suite、Google for Education を活用する場合の留意点>

PowerPoint と Word などの2画面以上の共有は、参加者はホストが提示した画面で作業はできません (画面共有しているホストのみが可能)。

<Google ドライブを活用する場合の留意点>

無料ソフトとして使用する場合、Gmail アドレスを持つ参加者全員で一つのブラウザで一つのソフトで画面共有作業を行うことはできるが、音声はないため話し合いをしながら作業はできない。会議システム GoogleMeet を使用することで、参加者同士の話し合いと作業を同時にすすめることは可能です。

<2つのソフトを同時に共有する方法>

画面共有する学生(以下、ホスト)が、「パソコン画面」を選択して共有すると、複数のファイルを参加者で閲覧することはできます。この場合は画面上で編集できるのはホストのみです。

<テレビ会議システムと作業の共有>

ZOOM の場合は、ZOOM で話し合いをする方法に特化し ZOOM を開いたままで、HP 上にリンクしている PDF 説明ファイルの「[オンライン用ワークシート使用例](#)」に示す Jamboard 等を使って、参加者全員が別のブラウザで共有作業を進める方法は可能です。

(9) アンケートへの協力依頼と本件に関する連絡先アドレス

HP上にアンケートフォームがありますので、ご協力よろしくお願いします。

オンライン演習に関してご質問ならびに意見等は、以下のアドレスをお願いします。

(担当任期 2021 年 3 月末まで)

FD 検討委員会 nydkfdr2018.2020@gmail.com

<2018~2020 年度 FD 検討委員会> 五十音順

委員長：松枝睦美（岡山大学）

副委員長：鎌塚優子（静岡大学）

委員：籠谷恵（東海大学）、加納亜紀（就実大学）

佐藤伸子（熊本大学）、丹佳子（山口県立大学）

津島愛子（岡山大学）、山内愛（岡山大学）